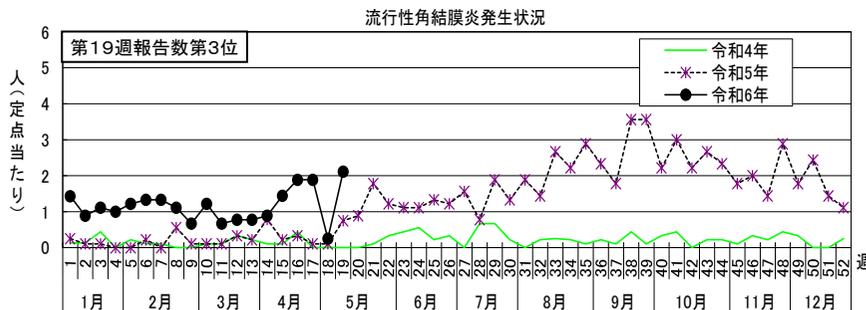
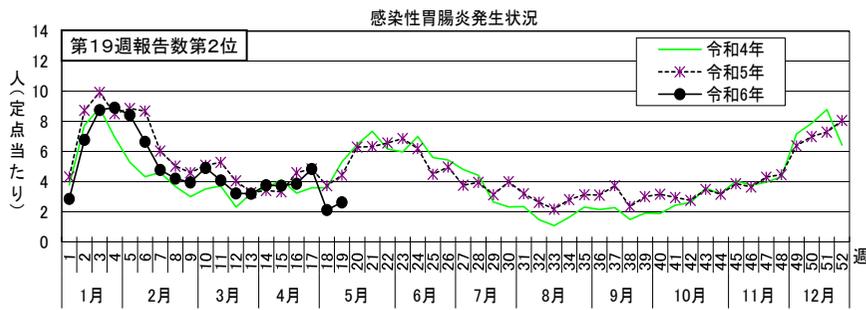
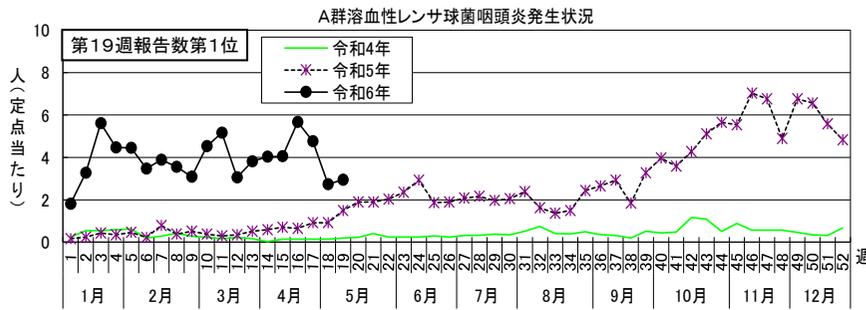


# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和6年5月6日（月）～令和6年5月12日（日）〔令和6年第19週〕の感染症発生状況

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2) 感染性胃腸炎 3) 流行性角結膜炎でした。  
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.95人と前週(2.74人)から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.62人と前週(2.12人)から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は2.11人と前週(0.25人)から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



### 手足口病の報告数が徐々に増加しています！

手足口病はエンテロウイルスやコクサッキーウイルス等、複数のウイルスを原因とする感染症で、例年初夏に報告数が増加し、夏季にピークを迎えます。川崎市における定点当たり報告数は、令和6年第19週（5月6日～12日）に0.32人と、第17週（4月22日～28日）以降やや増加しており、今後更に増加する可能性もあります。

手足口病は、手のひらや足の裏、口腔内等に水疱性の発しんが現れますが、ほとんどの場合は数日で軽快します。しかし、原因ウイルスの種類によっては重症化し、髄膜炎や脳炎等の合併症を引き起こすこともあります。

手足口病は飛沫感染や接触感染により感染し、原因ウイルスは症状改善後も1か月程度は便から排泄されるといわれています。感染予防のためにも、これからの季節は日頃から手洗いを徹底することが重要です。

**手足口病とは**

**病原体：**コクサッキーウイルス、エンテロウイルス、エコーウイルス等

**感染経路：**飛沫感染、接触感染、糞口感染

**潜伏期間：**3～5日

**典型的な症状：**軽度の発熱、手掌・足底・足背及び口腔内の粘膜などに水疱性の発しん

**予防対策：**手指衛生、排泄物等の適切な処理、タオルなどの共有は避ける。

